

第2回古沢小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和6年6月12日（水）

開催時間：19時00分～20時00分

開催場所：古沢地区センター

出席者：長谷川会長、前田副会長、斉藤副会長、荒木（兼）委員、森委員、
五十里委員、高林（聡）委員、市川委員、荒木（祐）委員、
今井委員、松井委員

事務局：教育委員会事務局次長 高橋 洋
学校再編推進課長 山崎 悟
学校再編推進課長代理 高岡 太郎
学校再編推進課計画係主査 春田 圭介
学校再編推進課計画係主事 大関 光貴

《開会》

【司会】 第2回古沢小学校のあり方協議会を開催する。
本日、都合により3名が欠席している。
長谷川会長に議事の進行をお願いする。
（長谷川会長 挨拶）

《報告事項について》

【会長】 次に、報告事項ということで、事務局より説明を求める。
【学校再編推進課長】 （「令和5年度収支決算」「委員の交代」について報告）

《協議会の今後の活動について》

【会長】 本協議会の今後の活動について話し合いたい。
まず、古沢小学校のあり方について、古沢地区の住民の意向
を知るためにアンケートを実施したい。事務局より説明をお
願いする。
【学校再編推進課長】 （古沢地区住民アンケートについて説明）

- 【会長】 このアンケートについて、何か参考としたものはあるか。
- 【司会】 浜黒崎小学校のあり方協議会で、浜黒崎保育所において実施されたアンケートを参考としている。
- 【会長】 アンケートの内容について、意見などはあるか。
- 【委員】 このアンケートは古沢地区で実施するということだが、例えば古沢だけではなくて、呉羽地区全体のアンケートを実施する予定はあるか。
- 【学校再編推進課長】 現時点で実施の予定はない。
- 【委員】 他の地区の住民の方たちはどういった考え方なのかというのが、一番気になると思う。行く行くはそういったこともやっていただきたい。
- 【学校再編推進課長】 今回のアンケートは、このあり方協議会がその地域の方針を決めるための参考にすることが目的であり、対象は地区内の世帯にとどめさせていただいたほうがいいと考えている。
- 【委員】 今回はそれで問題ない。ただ、呉羽全体の事も知る必要があるのではないかというもの。
- 【委員】 このアンケート（案）の一番下に書いてある「16日から21日に班長が回収に伺います」というのを、「班長に届けてください」にしていきたい。
- 【委員】 班長の負担になる。
- 【司会】 班長宅のポストに投函ってということで良いか。
- 【会長】 自治会は、班長が一番大変であるため、そのようにされたい。
- 【委員】 それから、この全戸配布というのは、学生アパートも含めるということか。
- 【司会】 広報とやまと一緒に配布したいと考えており、広報とやまを配布していない世帯は対象とならない。
- 【委員】 古沢地区は、学生アパートに広報を配っているところがあるため、含んでしまう。
- 【会長】 現状から言うと、アパートの個々のところへは配っていないが、管理人のところへ持っていつている。アパートは対象と

しないというやり方でもいいかもしれない。アパートにいる人は、学生が主だと思うが、自治会のことに対してはあまり興味持っていないと思うし、ほとんど活動には出てきていない。

【司会】 今回のアンケートについて、学生アパートだけを除いて配布するということは可能か。

【委員】 問題ない。部数あっても余るだけで。

【司会】 広報と同じ部数だけ用意してお届けするため、あとは各班長で、ここは学生アパートだから配らないといった判断をしていただきたい。

【会長】 アンケートの結果として、統合するという意見が60%程度になれば、早く進めれるかと思うが、回答を出されない人は賛成なのか反対なのか分からない。回収率は70～80%を目標ということで良いか。

【司会】 浜黒崎の保育所で実施したときは、回収率が80%程度だったかと思うが、人数が少なかったので可能だったものと考えられる。回収率も含めて、結果を報告させていただき、判断いただく材料にしていきたい。

【会長】 それでは、内容としてはこれでよろしいか。

【委員】 去年、池多でアンケートしたものはこれと同じものか。

【司会】 内容はもしかしたらよく似ているかもしれないが、浜黒崎でしか使っていない。

【会長】 ここでアンケートをやってはどうかという話になったが、その回答が出ても、これはどんな思いで書かれているか、そういうことまで分析ができるわけでもないため、アンケートだけが判断の材料でないという思いはある。

それでは、これで進めていきたいと思うが、よろしいか。

改めて、確認すると回収率は80%程の目標として、学生アパートは対象外、あとは、ほかの地域については、先ほど意見があったが、古沢小学校のあり方について検討するためと

いうこで、古沢地区を対象に実施するということよろしいか。

(「はい」の声あり)

《協議会の今後の活動について》

【会長】 次に、本協議会を今後、どのように進めていくか、事務局と話をしながら考えてきたため、皆さんに説明しながら意見をいただきたい。それでは、事務局より説明をお願いします。

【学校再編推進課長】 (今後の活動案について説明)

【会長】 それでは、事務局から説明があった先進地区の講演会、それから学校見学会、地区の説明会というような活動について意見はあるか。

例えば、今言われた浜黒崎小学校のあり方協議会委員の講演会についてはどうか。もしやるとすれば、このメンバーのところで話ししてもらおうという形になるか。

【司会】 実は、今、古沢小学校と同時に池多小学校でも協議会の話をされており、同じように先進地区の講演を計画しようと考えている。可能であれば古沢地区と池多地区合同で講演会を実施したいと考えている。

【会長】 実施は、いつ頃になるか

【司会】 日程は、浜黒崎のあり方協議会の会長の日程を伺ってから調整させていただきたい。

【会長】 同じことを聞くかもしれないが、池多と古沢の合同で実施するということでよいか。

【司会】 池多の林会長とは、事前に話をさせていただいているが、池多でも来週あり方協議会を開催するため、そこで確認したい。

【会長】 場所は、古沢でやるか、池多でやるか。

【司会】 それか別の会場かというところも含めて、また改めて相談させていただきたい。

【会長】 タイミングとしてはアンケートの結果を見てからという時期になるか。

- 【司会】 同じ回にできればと考えている。
- 【会長】 アンケートの結果は、3回目の協議会のあたりということか。
- 【司会】 合同開催の講演会であれば、講演で一旦終了することになるかもしれないが、もし池多で講演会はやらないということになれば、講演が終わった後にアンケートの結果も報告できるかと思う。
- 【会長】 浜黒崎小学校は、人数はどれだけいたか。
- 【司会】 浜黒崎の人数は、令和6年5月時点で87名である。
- 【学校再編推進課長】 先ほどのアンケートについては、仮に、浜黒崎小学校の先行する地区の方の講演会があったときには、その会でアンケート結果はお配りするが、それについての話合いや協議については、その次の会でさせていただく形になると思われる。
- 【会長】 アンケートの結果の話し合いはひとまず未定ということで、講演会は実施するという事でよろしいか。
- （「異議なし」の声あり）
- 【会長】 学校の見学会はどうか。私の個人的な思いでは老田は見に行けばいいという思いはある。ただ、ほかの芝園や三成などは見なくてもいいのではと思う。
- 【委員】 例えば仮に、古沢が老田小学校と統合するというビジョンがあったときに、古沢だけがアンケートをし、ある程度の総意が取れたというときに、池多ではまだ総意がないとなった場合は、次のステップに進むのを一旦止めることになるのか。全員が足並みをそろえないと進めれないことに対して、ここだけ突っ走って、学校見学会を実施しても、後ろを見たらついてきてないとなると、それはどうなのか。そのあたりやはり歩調を合わせていかないとできないことであれば、池多とも話をして足並みをそろえてやっていかないと成立しないのではないか。当然、まず個々がどうであるかというのをまとめた上で、池多も実はこうでしたと。それでやっと一緒にやっていきましょう、老田さんどうですかという、このプロセ

スですよ。ここに対して、やはりこのアンケートの結果で一旦相手側の様子を見て、それからでもいいんじゃないかと思うが、どうか。学校を見学に行きましょうというのは、確かにあってもいいが、そこで1回ボーダーラインというかジャッジが入るのではと思う。

【会長】 今の思いとしては、古沢と老田で統合するということと古沢と老田と池多で統合するということと、いろいろなパターンがまだあると思うが、3校での統合というのが人数的にはちょうどいいのではという思いはある。

【委員】 古沢と老田だけで、統合するということは想定としてあり得るのか。例えば、古沢は統合の意思があるが、池多の意見がまとまらないといった場合に、先に古沢だけ話を進めましようというのが選択肢としてないのであれば、そもそも、池多と一緒に歩調を合わせていかなければならないのではないかな。

【学校再編推進課長】 あり方協議会というのが、地域主体でどこと統合したいという意見集約を図るものであり、もし古沢で、老田と統合したいが、それは池多と合わせての前提であるという決定があれば、その決定をした上で、池多の動向を待ってから統合の協議を進めていくという整理の仕方もある。そうではなくて、池多がどうなろうと古沢としては早く老田小学校と統合したいということも、意見集約の結果の結論の一つであろうかと思う。

ただ、今、池多でも同じような流れであり方協議会を進めているが、池多地区も統合には前向きで、この先ブレーキがかかるような状況は今のところなく、同じ時期に老田小学校と統合していこうというような流れになるのではないかと事務局としては考えている。

【会長】 3つの学校が統合しても十何年もつかどうかといった話があったと思うが、2つとなれば、そんな何年ももたないので統合する意味がない。

- 【委員】 3年か4年後にまた再編対象校になるという説明があった。
- 【委員】 同じ力をかけるのに、結果がそんなことならやるべきではない。
- 【学校再編推進課長】 前提条件をつけていただければ、その決議をいただいた時点で池多の動向を確認してから、また協議が動き出すということもできる。
- 【委員】 他の地区が追従しないと成立しないということでないということが良いか
- 【学校再編推進課長】 そうではない。
- 【委員】 分かった。
- 【委員】 逆に、老田が統合に反対するということはないか。
- 【学校再編推進課長】 絶対ないとは言えないが、老田小学校も再編対象であり、ほかの地区から来てもらうことで、ある程度の期間、一定規模を確保できるのであれば、それほど反対されるということはないのではと考えている。
- 【委員】 でも、こういう話はまだ老田で進めていないのではないか。
- 【学校再編推進課長】 協議は進んでいないが、自治振興会の方と話している状況では、前向きに捉えておられると考えている。
- 【会長】 古沢はこういった状態だから、みんな他の地区から古沢に来てという話にはならないと思う。老田に古沢のほうへ来てくれと言ったら反対するかもしれない。
- 【委員】 同級生が老田のPTA副会長になってるが、こちらはウェルカムだと。そちらが反対してるんじゃないかと冗談だが、言っていた。
- 【会長】 確かに、みんなの総意などと言い出したら、いろんな思いを持っている人がいる。何とも言えないが、流れからいえば、こちらから行かないといけないことになるのではないかと。話は戻るが、学校見学会をもしやるとすればどうか。内容は、どのようなものを見てくるか。施設とかそういうものか。
- 【司会】 学校の施設はもちろん、学校の雰囲気というものも感じてい

ただきたい。

【会長】 全員が行けるか分からないと思うが、時間のある人は見てくればいいのかも。私個人で言うのはおかしいかもしれないが、呉羽小学校を見に行っても、あそこと統合するならいいが、そうでないのであれば行ってもあまり意味はないように思う。皆さん、老田小学校を見に行くということでどうか。

【委員】 3つの学校が一度に統合したことはあるか。

【学校再編推進課長】 今の中央小学校は五番町と清水町と星井町の3つが統合してできたが、一斉に3校が統合したのではなく、星井町と五番町小学校が一次統合して、その後清水町と統合した事例で、3つが一挙に統合というのはあまりない。

【委員】 前例がないというか、3校同時で統合するというのもないということか。

【春田主査】 旧富山市以内においてはなく、八尾地域で一斉に複数校が統合したという事例はある。

【委員】 3校が統合して、計算したら、大体1クラス平均33人ぐらい。それがずっと続くとは限らないが、2校であればあまり変わらない。そう考えると、そもそも複式を解消するためには、人数をある程度増やさないといけないのに、単独で2校だけ統合して結局変わらないとなればやる意味がない。

【委員】 さっきの話に戻るが、例えば、近々に、池多のほうでも同じようなアンケートを実施されるのかどうか。結局、足並みをそろえたほうがいいと思うし、古沢と池多で合意があって、それを老田に伝えてという流れにすれば、もっと話は活性化していくのではないか。また、老田でもそういったアンケートを実施して、老田地区の合意形成はどうかというものがあれば、それが統合する要因にもなるだろうし、ほかのところの意見も聞けば、より動きやすいのではないか。

【委員】 このアンケートの結果を見て、その時点でやはり他の地区が

どうかというのをもう一回見る必要があるのではないかと思います。

【会長】 古沢では全世帯を対象にアンケートをすることにしたが、他の地区ではあまりやってないのではないかと。池多でも全体の世帯ではやっていない。アンケートをやったら何か分かってくるかといえば、これによって皆さんがどういうふうに思っているか見えてくる。特に地区の活動については、衰退してしまうのはみんな分かっているから、嫌という部分があるかもしれないが、今後のことを言えば、現状そういうふうには進められない。

【委員】 実際、行事とかにしても、かなり苦しい展開になってるのは、よく感じる。いつも出てる人が一緒だとか。

【会長】 複式学級に実際に通っている子どもはどんな様子か。

【委員】 それはまた各家庭の子どもによって捉え方が恐らく違う。大きい学校に行きたくないという子とそういうところに行きたい子に分かれる。それに対して親でもいろいろな考え方がある。上の子と下の子でもまた違ったりする。だから、最終的にそういうことも含めると難しい面もあるが、皆さんは地域行事の在り方とか地域の衰退というのは、自治振興会の方がすごく大事だと思うし、学校の子どもだけでもない問題もそうやって潜んでいるのは分かる。

【会長】 子どもは、そこで育っているからそのことしか分からないから、全体を見てるわけじゃないからそういう判断なんだろうと思う。私らは、地域がどうなっていくのかというのが心配ではある。

とりあえず、学校見学会については老田小学校を見学するという事でよろしいか。

（「はい」の声あり）

【会長】 あと、地区の説明会という形で、これは必要だと思うが、時期や回数はどの程度か。

- 【学校再編推進課長】 これも、このあり方協議会で方向性が定まった段階で、地域の方にこういったプロセスでこういう意見にまとまりましたという説明をするもので、何回しなければならないと決められたものではない。
- 【委員】 この説明会を開いたからといって、こちらが老田と統合したいといっても、老田が受けてくれなければ、何にもならないのだから、アンケート結果を皆さんに配布するだけでいい気がする。説明会開いたってこっちからは何も言えない。
- 【会長】 そういう意味ではなく、アンケート結果はアンケート結果で、あとは老田、または池多との進行状況を……
- 【委員】 その程度ぐらいしか報告できない。
- 【会長】 進捗状況をみんなに報告しないと、大体心の準備というのがある。ほとんどの人は、子どもがいない人は関係ないかと思うが、でも、どの時点から小学校が統合してしまうのかということ伝えておく必要がある。
- 【委員】 結局今言うように、老田と合併しますといったところで、いつから統合するのかというのを皆さん聞きたいだけの話であって、そういう話になると思う。それはこちらとしても報告できない。いつ説明会をやるかは分からないが、老田と統合しますという結果が出ない限り、報告することは何もない。皆さん、いつから統合するのか結果を聞きたいだけだと思う。
- 【会長】 結果もそうだが、この校舎をどうするとか、いろんな付随するようなこともある。
- 【委員】 そういったことは結果が出て、どうするかという話が出てくるものだと思う。
- 【会長】 校舎をどこにするかという問題もある。今は勝手に老田と言っているが、老田がいいのか、学校の規模やグラウンドのことを考えて、どこがいいのか。それから交通の便やスクールバス、それから、放課後に子どもを見るものとか。
- 【委員】 何十年後にまた統合するなら、最初から呉羽というのでもよ

い。どのみち今老田と統合しても、またその後呉羽と統合する可能性があるなら、最初から新しい校舎をどこかに建てて……

【委員】 私もそれは思っていた。

【委員】 これまた大規模校になってしまうと問題なんでしょう。でも確かにその最終プロセスもありだと思う。どこかに新しい校舎を造って全員そこに行く。どうせ呉羽中学校にみんな行くのだから、もう全員そこに行くと。

【委員】 それ、呉羽と長岡が反対すると思う。中学校が新しくなったときも、呉羽と長岡は、みんな反対した。多分、1つにしたら絶対こっちのほうにできて、遠くなるから。

【委員】 通学が遠くなるから。

【委員】 今のところに造ると言えば別だが、今のところでは狭すぎる。

【委員】 今の呉羽小学校のところは無理でしょう。

【委員】 無理だと思う。あそこは狭い。

【委員】 だから、早くすると言ったら、一遍には無理がある。

【委員】 本当、そもそも論かもしれないが、「用意しました。どうぞ。」とならないかなと。

【委員】 水橋の義務教育学校。あれはすごいと思う。

【委員】 水橋の義務教育学校は何年かかったのか。

【春田主査】 富山市に対して申入れがあったのは令和2年、そこから令和8年の統合なので、建設も含めると、5年ぐらひはかかる。その前から自治振興会の会長さんたちが集まって、下積みがやはり少しあった。

【会長】 早く統合できればいいが、呉羽の校舎はまず今の状態では対応できない。古沢は何とかなければいけないと思っているからこそ、こういう話が出ている。将来は、中学校みたいに一つの場所になっていくのだと思うが、いつの話になるかも分からない。

この話は、いつまでもいろんな意見が出てくると思うが、今

後の活動について、講演会と学校見学と地域の説明会、これは時期を見ながら進めるということによろしいか。

(「異議なし」の声あり)

《第1号議案について》

【会長】 次に、第1号議案の令和6年度の予算(案)について、事務局より説明を求める。

【学校再編推進課長】 (第1号議案について説明)

【会長】 それでは、この予算(案)について、何か質問等、あるか。特になければ、原案どおり進めていきたい。

(異議なし)

最後に質問等あるか。

【委員】 例えば今、老田と統合する場合の通学の話だが、バス通学とする距離について、何か決まりはあるか。

【学校再編推進課長】 スクールバスを運行する距離については、明確な基準はないが、大まかな考え方として、統合することによって通学距離であるとか時間が延びるという子どもがいる場合は、それに対してスクールバスを検討するという考え方である。

【委員】 スクールバスは分かるので、その小学校までの徒歩距離というか、2キロ圏内なのかという話。

【学校再編推進課長】 教育委員会として、スクールバスはこの距離から出すというものはない。統合しても場合によっては、元々の学校よりも、学校の通学距離が近くなる子どもがいる可能性もあり、そういった子どもについては、原則として徒歩で通学していただくという整理である。

【委員】 普通感覚でいえば、古沢から老田に行くとしたら、栃谷だけ徒歩で、あとはバスかなという思いがした。古沢でも西金屋のほうだったら徒歩かなという思いもあったので質問した。

【会長】 他に意見などはあるか。ないようなので、事務局から何か連絡があればお願いします。

【司会】 次回の協議会については、先進地区の委員による講演ということで、浜黒崎のあり方協議会の委員の方の日程を調整の上、改めてご案内させていただく。

【会長】 それでは、第2回古沢小学校のあり方協議会を終了する。

—— 了 ——